

陸上競技研究紀要 第3巻

編集後記

この度、平成18年度「陸上競技研究紀要・第3巻」を発行しました。早いもので、本「研究紀要」もリニューアルしてから3年目を迎えたこととなります。この「研究紀要」は、わが国の陸上競技に関する研究論文（集）であり、なるべく多くの陸上競技関係者や指導者の方々に読んでいただくことをねらいとしています。そこで、今回も、1300部を発行し、日本陸上競技連盟理事・評議員、公認コーチ・上級コーチ、各都道府県陸協、各協力団体、JOC、日本体育協会、国立国会図書館などの国内のみならず、IAAF、アメリカ陸連、英国陸連、ドイツ陸連、AIS、アジア陸連、中国陸連等に配布することにしました。

嬉しいことに、先の第1・2巻では、多くの指導者の方々から、「指導する上で大変参考になるデータがたくさんあるので助かる」とか、また諸外国陸連からも、質問や問い合わせが何件か寄せられています。おそらく、今回発行の第3巻では、さらに多くの方々の目に留まり、たくさんの方々の反響があるものと編集委員一同期待しているところです。

ところで、第1巻・第1部では「査読審査」を経て、原著論文8編、資料5編が掲載されました。また、第2部の科学委員会報告では18編の報告がなされました。第2巻では同様に、原著論文11編、資料1編、科学委員会報告17編が掲載されました。そして、今回（第3巻）は、原著論文5編、資料3編、科学委員会報告10編が掲載されています。

今回（第3巻）第1部の論文・資料（報告）では、疾走に関する分析2編、投擲に関する動作分析と調査に関するもの2編、分析方法に関するもの、競技運営に関するもの、棒高跳の技術分析に関するもの、小学生優秀選手の調査・分析に関するもの各1編（合計8編）が掲載されています。どうか、皆さま方、各論文・資料（報告）を、是非ともご一読ください。また、第2部の科学委員会報告では、上記したとおり、10編が掲載されています。この第2部においては、一流選手の技術的分析データが多種目にわたって報告されていますので、特に現場の指導者の方々には、大変参考になるものと思います。どうぞ、ご活用ください。

本「研究紀要」をさらに充実させるために、研究者や指導者の方々には、論文・資料（報告）のご投稿をお願いしたいと思いますし、また本「研究紀要」ならびに論文等に関する質問、意見等をどしどしお寄せいただきたいと思います。もちろん、われわれ編集委員一同、今後とも、よりいっそう充実した「研究紀要」の作成（内容）を検討していく所存です。

最後になりますが、今回も、お忙しい中、澤木啓祐専務理事から、ご丁寧なるあいさつ文をいただきました。また、本「研究紀要」発行に当たっては、事務局の風間明氏、森泰夫氏、三宅聡氏にご理解とご支援をいただきました。ここに、併せて、心から感謝申し上げる次第です。

平成19年7月31日

文責 岡野 進（編集副委員長）

陸上競技研究紀要第3巻 編集委員
阿江通良（編集委員長）、岡野 進（副委員長）、伊藤 宏、松尾彰文、杉田正明
（日本陸上競技連盟・事務局）風間 明、森 泰夫、三宅 聡

「陸上競技研究紀要」第3巻

2007年7月31日発行

発行人 澤木 啓祐

発行所 財団法人日本陸上競技連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

TEL : 03-3481-2300
